



联合国
粮食及
农业组织

FOOD AND
AGRICULTURE
ORGANIZATION
OF THE
UNITED NATIONS

ORGANISATION
DES NATIONS
UNIES POUR
L'ALIMENTATION
ET L'AGRICULTURE

ORGANIZACION
DE LAS NACIONES
UNIDAS PARA
LA AGRICULTURA
Y LA ALIMENTACION

منظمة
الغذية
والزراعة
للأمم
المتحدة

Liaison Office in Japan

5F Yokohama International Organizations Center, Pacifico-Yokohama,
1-1-1, Minato Mirai, Nishi-ku, Yokohama 220-0012, Japan

Tel. (045) 222-1101
Facsimile: (045) 222-1103
E-Mail Address: FAO-LOJA@FAO.ORG

LOJAPR07/08-No.99

プレスリリース

FAO (国際連合食糧農業機関) 日本事務所
2007年7月10日

コーデックスが新たな食品安全・品質規格を採択 食品規格策定時にリスク分析に従うことを政府に促す -

(仮訳)

2007年7月9日 ローマ/ジュネーブ発

本日発表されたFAOとWHOの共同声明によると、コーデックス総会で44の新規格と改定規格が採択され、特にコーデックス規格のない食品に関して、政府独自の規格策定の一助となるよう、包括的なリスク分析の原則が打ち出された。

コーデックスの食品安全規格は、FAOとWHOの複数の専門家委員会の科学的な助言に基づいて作成されることで、コーデックス内での厳密な規格の策定を行うことが可能となっている。「それだからこそ、コーデックス規格が世界中でこれほど受け入れられ、WTOのSPS協定(衛生及び植物防疫措置の適用に関する協定)でも国際基準として認定されているのです。」とコーデックス委員会宮城島一明事務局長は述べる。

さらに同事務局長は、「各国の政府はしばしばコーデックス規格を国の基準として採用しますが、時にはコーデックスが取り扱わない分野でも何らかの衛生措置をとることが必要になります。その際は、コーデックスと同等の国際的に認知されたリスク分析の原則を適用した上で、必要な安全対策を講じるべきです。これは単に消費者を保護するだけでなく、多国間貿易のルールを守るという観点からも重要です。」と説明する。

コーデックスが新たな食品の問題を検討

FAOとWHOは、コーデックスで食品中の細菌の薬剤耐性を防止するための検討が継続されていることを歓迎した。FAOとWHOはナノテクノロジーの応用、魚類摂取のリスク・便益評価などの分野についてコーデックスをサポートしていく予定である。両機関は、これら新しい事業に必要な資金を政府・非政府機関から調達し同分野における国際的な科学的リスク評価を促す目的で「食品関連の科学的助言に関する世界イニシアティブ(GIFSA)」を立ち上げた。

サルモネラ菌とカンピロバクターに関する追加ガイドラインの検討

今回の会議では、鶏肉のサルモネラ菌とカンピロバクター汚染を減らすためのガイドラインの策定をコーデックスで開始することが決定された。世界中で発生する食中毒のかなりの部分がこれらの細菌によるものである。生産から消費にいたるまでの段階を通じてこの問題に対する効果的な対処方法が見つかれば、毎年数十万件発生している食中毒を防ぐことが可能となるだろう。

途上国がコーデックス信託基金への出資を開始

今年の総会では、新興途上国としては初めてブラジルとマレーシアが、途上国のコーデックス会議出席を支援するコーデックス信託基金へ出資する意向があることを表明した。現在、広範囲なコーデックスの会議に出席するため、途上国の約250人が資金の援助を得ている。食品安全の分野でこのように経済発展途上の国が他国の発展をサポートしよう、というのは今回の例が初めてである。

「他の主要新興経済国が今回の例に倣うことで、より効率的なグローバル食品安全制度が実現することを望んでいる。」とWHOのヨルゲン・シュルト氏は述べている。

アフリカの国々には特別な配慮が必要

多くの途上国、特にアフリカの国々は、FAO、WHO、ドナー国に対して技術協力事業の強化を要請した。これらの国々では、コーデックス規格を満たせるよう食品の生産、加工、流通過程を改善すること、そして継続的かつ効果的にコーデックスの活動に参加できる能力を構築するための援助を必要としている。

採択された規約・規格

今年のコーデックス総会で新たに採択された、重要な規約・規格には以下のものが含まれる。

- ・ ぶどう酒のオクラトキシンA汚染の防止又は低減のためのガイドライン（オクラトキシンAは肝臓への毒性で知られるカビ毒）
- ・ 乳幼児用粉ミルクおよび乳幼児用特殊医療用粉ミルク（世界中で多くの乳幼児の命を救うと期待されている）の改定基準
- ・ サルモネラ菌など病気を引き起こす細菌から消費者を守り、卵・卵製品の国際貿易をより安全なものとするための卵・卵製品の改定衛生規格

来年のコーデックス総会は、6月30日よりスイスのジュネーブで開催される。

問い合わせ先：FAO日本事務所 国安、八木、宮道 TEL：045-222-1101 FAX：045-222-1103 〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1パシフィコ横浜 横浜国際協力センター5F www.fao.or.jp
